

<速報>

\* 12月1日、ドイツ政府が「イスラム国」に対する軍事行動を支援するため、偵察機や艦船に加えて、最大1200人の兵員を派遣することなどを閣議決定した。議会の承認を経て実行に移す。偵察に当たるトルネード戦闘機数機と空中給油機1機を投入、さらにフリゲート艦1隻を派遣して仏空母シャルル・ドゴールを護衛する。

\* 12月1日、シリア内戦に加わっている「ヌスラ戦線」が、レバノン軍兵士と警察官の捕虜16人を解放。一方、レバノン当局は収監中のイスラム過激派ら13人を釈放し、捕虜交換が成立した。13人の中に「イスラム国」の最高指導者アブバクル・バグダディ容疑者の元妻が含まれている。

\* 12月1日、ロシア政府がトルコ産品の輸入禁止リストなどを決定。トマト、ミカン、鶏肉など17品目の輸入を1月から禁止する。

\* 12月1日、米国のカーター国防長官が下院軍事委員会においてイラク政府軍支援、人質救出や「イスラム国」幹部拘束のため強襲部隊をイラクに派遣し始めたと言明。この舞台はシリアにも展開し、「イスラム国」と戦う反政府勢力を支援する。地上戦への関与が深まることになる。

\* 12月1日、国産難民高等弁務官事務所（UNHCR）がシリアなどから11月に欧州に入った難民らの数を約14万人と発表、前月より約8万人減となった。前月比で減少したのは今年初めて。

\* 12月2日、イギリス下院が「イスラム国」を標的にしたイギリス空軍による空爆をシリア領内にも拡大するべきかを問う政府提出の動議を賛成397、反対223の賛成多数で可決した。3日、イギリス空軍がシリア領内への空爆を開始した。1～2日、ロンドン中心部の国会議事堂前広場で反戦団体の呼びかけで空爆反対の緊急集会が開かれ数千人が参加。

\* 12月2日午前11時頃、米国カリフォルニア州サンバーナーディーノの福祉施設内で何者かが銃を乱射し、少なくとも14人が死亡、十数人が負傷した。容疑者のサイド・ファルーク（28）とパキスタン国政の妻タシュフィーン・マリク（27）は車で凍傷したが、警察との銃撃戦で死亡した。

\* 12月2日、国際原子力機関（IAEA）の天野之弥事務局長がイランが核兵器開発を進めていたとされる疑惑について最終報告書を理事国に配布し、「イランは2003年末まで核爆発装置の開発につながる活動を組織的に行った」との見解を示した。

\* 12月2日、ブラジル連邦議会のクニャ下院議長が野党が求めていたルセフ大統領の弾劾請求の受け入れを決めた。罷免の是非を巡る議論が始まる。罷免には上下院で3分の2以上の賛成が必要。

\* 12月2日、スロバキアがEUが12万人の難民受け入れを加盟国に割り当てるとした決定に対して、決定の無効を宣言するよう欧州司法裁判所に提訴した。

\* 12月2日、アフガニスタン政府は反政府勢力「タリバーン」の幹部会合で銃撃戦が発

生し、最高指導者のマンスール師が重傷を負ったとみられると発表した。

\* 12月2日、スペインの憲法裁判所がカタルーニャ自治州の議会が11月に採択した州独立を目指す決議に関して無効とする判断を下したと発表した。

\* 12月3日夜、ロシアのラブロフ外相がトルコのチャブシュオール外相と会談、ロシア軍機撃墜後初めての外相会談だったが、同外相は会談後「何も新しい話はなかった」と発言。

\* 12月2日、NATOがブリュッセルで外相理事会を開き、モンテネグロ（人口62万人）の加盟を決定した。他方、同理事会は年初から訓練を主体とした任務に移行しているアフガニスタンでの部隊駐留について2016年までは1万2000人規模で維持する方針を決めた。また、トルコの防衛能力強化を支援することで合意した。

\* 12月3日、イラクのアバディ首相が声明を発し、同国への地上戦闘部隊派遣について「どの国によるものであれ敵対行為と見なし、その前提で対応する」と警告。「どの国にも派遣を要請していない」と主張。

\* 12月3日、ハンガリー政府がEUが決めた加盟国の難民分担受け入れ計画の無効を求めてEU司法裁判所に提訴したと明らかにした。

\* 12月3日、ベルリンのブンデンスブルグ門前でドイツがシリアに「イスラム国」に対する軍事作戦に参加しようとしていることに反対する集会・デモが行われ約3000人が参加。

\* 12月4日、タイ警察が、ロシアの治安機関の連邦保安局（FSB）からの情報として、「イスラム国」のメンバーとみられるシリア国籍の10人がタイに入国し、ロシア人やロシアの関連施設に攻撃を仕掛ける可能性があると公表。

\* 12月4日、ドイツ連邦議会（下院）が「イスラム国」に対する軍事的関与を強めるため、偵察機や艦船などを投入する議案を賛成多数で可決した。後方支援に徹し、空爆を強化する米英仏とは一線を画した。

\* 12月4日、ベルギーの検察当局がパリの同時多発テロに関与したとして新たに男性2人の写真を公開し、指名手配したと発表。指名手配中のサラ・アブデスラム容疑者（269が9月にハンガリーを訪れた際に同行し、偽造した身分証明書を使用した疑いがもたれている）。

\* 12月4日、米国連邦捜査局（FBI）がカリフォルニア州サンバーナディノで発生した銃乱射事件で「テロ事件として捜査している」と表明。5日、オバマ大統領が演説で犯人たちが「暴力的な過激思想」に触発された恐れがあるとの見方を示した。

\* 12月5日付け『ルプログレ』紙とのインタビューで、フランスのファビウス外相が、シリア内戦の解決について、政権移行前にアサド大統領が退陣することは必ずしも必要ではないとの考えを示した。

\* 12月5日、チャド西方にあるチャド湖の島の市場で自爆テロが3件相次ぎ、実行犯を含めて30人が死亡、80人以上が負傷した。犯行声明は出ていない。

\* 12月5日午後7時過ぎ、ロンドン北東部の地下鉄レイトストーン駅坑内で男がナイフで周囲の人々を次々と刺し、1人が重傷、2人が軽傷を負った。男は「これはシリアのためだ」と叫んだと報じられる。

\* 12月5日までにトルコ政府が戦車などを装備した部隊をイラク北部モスル近郊に派遣した。トルコ側は「イスラム国」と戦うイラクのクルド地域政府の治安部隊「ペシュメルガ」を訓練する目的であるとしているが、イラク政府は「主権侵害」として即時撤退を要求した。

\* 12月6日、イエメン南部アデンでアデン州のジャファル・サアド知事が乗った車列が猥爆発に巻き込まれ、知事や警備担当者ら少なくとも7人が死亡した。「イスラム国」が犯行声明を出した。

\* 12月6日、アフガニスタンの「タリバーン」が死亡説が流れていた最高指導者マンズール幹部のものとするメッセージを発表。死亡説を否定する内容となっている。

\* 12月6日（日本）、SEALsと「安保関連法に反対する学者の会」が銀座で年内最後の大規模な抗議行動を展開、約4500人が参加。

\* 12月6日、フランスの広域自治体で「地域圏」議会選挙の第1回投票が実施され、移民排斥を掲げる極右・国民戦線（FN）が第1棟を獲得、サルコジ前大統領が率いる共和党など右派連合が第2党、与党社会党中心の左派連合は第3党にとどまった。暫定結果によるとFNは約30%、右派連合は約27%、左派連合は約23%、緑の党7%、左翼戦線（共産党と左翼党の統一会派）は4%を獲得。FNはルペン党首が立候補した北部ノールパドカレー地域圏で約40%を得票して首位になったほか、全13地域圏(海外領土を除く)のうち6地域圏で第1党となった。

\* 12月6日、ベネズエラで総選挙（一院制、定数167）が実施され、野連合が圧勝。野党連合は112議席を獲得、与党は55議席に激減。投票率は74.25%だった。

\* 12月6日、リビアで対立する二つの政治勢力が統一政府を樹立することで合意したと発表。世俗派が東部トブロクを拠点にする一方、イスラム派が首都トリポリを拠点に独自に政府を樹立している。

\* 12月6日夜、オバマ大統領がホワイトハウスの執務室からテレビ演説し、2日にカリフォルニア州で発生した乱射事件は「海外のテロ組織に命じられた」ものではないが、「テロ行為である」と明言、国内外でテロ対策を強化する方針を示し、「イスラム国」打倒を強調した。他方、イタリア紙『ラスタンバ』が死亡したサイド・ファルーク容疑者の父親が同容疑者は「イスラム国」の樹立とバグダディ容疑者に共感しており、「息子は“イスラム国”を支持していた」と語ったと報道。妻のタシュフィーン・マリク容疑者も「イスラム国」に忠誠を誓う投稿をしていた。

\* 12月6日、イラクのアバディ首相がトルコ軍部隊のモスルへの派遣について「トルコ軍が48時間以内に撤退しなければ、国連安保理の緊急招集など「あらゆる選択肢を検討する」と発言。

\* 12月7日、ドイツ内務省が中東などから同国に入った難民らが年初から11月末までに96万5000人に達したと発表（政府の予想年間流入者は80万人）。11月だけで約20万6000人に達した。

\* 12月8日、ロシア海軍の潜水艦「ロストフナドヌー」がシリア沖の地中海海中から「イスラム国」を攻撃した。ロシアの潜水艦が実戦で水中から巡航ミサイル攻撃を行ったのは初めて。

\* 12月8日、イラク治安部隊がシリア派民兵部隊の協力を得て「イスラム国」の支配下にあった中西部アンバル州の州都ラマディの軍事拠点など同市南西部から中心部にかけての同市大部分を奪還した。

\* 12月8日夜、アフガニスタン南部カルダハルにある軍民共用の国際空港を10数人の武装集団が襲撃し、民間人を含む55人（武装集団側9人）が死亡。

\* 12月10日、オーストラリア連邦警察がテロ捜査の一環として最大都市シドニー郊外で、連邦警察本部など政府施設の襲撃や市民を狙ったテロ共謀の容疑で5人を逮捕。

\* 12月10日、アルゼンチンで中道右派のマウリシオ・マクリ新大統領の就任式が行われ、12年ぶりに政権交代。引継ぎをめぐる意見の食い違いがあり、フェルナンデス前大統領は就任式出席を拒否。

\* 12月10日、米国国務省のトナー副報道官がリビアでの統一政府樹立に向けた関係国による高官会合が13日にローマで開催され、ケリー国務長官が出席すると発表。11日、フランスのオランド大統領が「イスラム国」について「まもなくリビアでもたたかい、潰滅させなければならない」と述べ、リビアへの掃討戦拡大は不可避との認識を示した。

\* 12月10日、サウジアラビアが主催し、リヤドで開催されたシリア反体制各派の会合で各派代表32人で構成される組織を設置し、そこで選ばれた交渉団が来年1月上旬にアサド政権と直接に和平交渉に臨むことで合意した。他方11日、シリアのアサド大統領が、スペインのEFE通信とのインタビューにおいて、武装勢力と交渉するつもりはないと表明した。

\* 12月10日、シリア北東部ハサカ県タルタメルで「イスラム国」による3件の自動車自爆攻撃があり、少なくとも民間人26人が死亡、120人が負傷した。ハサカ県ではクルド人勢力が「イスラム国」と交戦中。

\* 12月11日、トルコのドアン通信が、今年1月から12月までに「イスラム国」に加わるため違法にシリアに入国しようとしてトルコ国内で拘束された外国人は計913人にたったと報じた。最多は中国人の324人、次いでロシア人の99人、パレスチナ人83人、トルクメニスタン人63人だった。

\* 12月11日、イラクのアルハキム国連大使がトルコがイラク北部のモスラ近郊に軍を派遣していることに関し、国連安保理がトルコに対して部隊の即時無条件撤収を求める書簡を安保理議長のパワー国連大使に送付した。

\* 12月11日、アムネスティ・インターナショナルがイエメンに軍事介入しているサウ

ジアラビア主導の連合軍が8月から10月にかけて5ヶ所の学校に空襲を行ったため、計5人が死亡し、子ども4人を含む14人が負傷したと公表した。

\*12月11日、オバマ大統領が米軍の配置状況について議会に報告を行い、「イスラム国」と戦うシリア反体制派との作戦調整にあたる「小規模な特殊部隊」をシリア北部に展開していると通知した。

\*12月11日、アフリカ中部のブルンジの首都ブジュンブラで武装集団が軍の拠点3ヶ所を襲撃し、戦闘で武装集団のメンバー少なくとも12人が死亡した。

\*12月11日、在米キューバ大使館と米国国務省が1963年以来断絶していた両国間で直接郵便サービスを再開すると発表。

\*12月12日夜、パリで開催されていた国連気候変動枠組み条約の第21回締結国会議（COP21）が、新たな温暖化対策の世界的枠組みを決める「パリ協定」を全会一致で採択し閉幕した。全196ヶ国・地域が温室効果ガスの削減に参加する。「協定」は、気温上昇を2度よりかなり低く抑え、1.5度未満に向けて努力する、今世紀後半に温室効果ガスの排出と九州を均衡させるとしている。

\*12月13日、フランスの地方選挙（第2回投票）が投開票され、右翼・国民戦線（FN）はいずれの「地域圏」においても首長の座を得られず。与党・社会党が二大政党の共闘を実現させ、対FNの包囲網づくりに動き、第1回投票でのFN第1位の状況を覆した。FNの得票率は全国で27%、野党・中道右派の共和党などが41%、社会党は29%にとどまった。

\*12月14日、パリ北部の幼稚園で覆面姿の男がカッターナイフで男性教師を切り付けて逃走。男は「イスラム国」の名を口にし、「これは警告だ」といったという。

\*12月15日、コロンビア政府とFARCが交渉地のキューバのハバナで紛争犠牲者への補償問題で合意したと発表した。

\*12月15日、国連の仲介でイエメンの和平協議が再開され、イエメンの各派代表ら24人が出席した。ハディ大統領派とイスラム教シーア派武装組織フーシ派は同日から7日間の停戦に入った。

\*12月15日、国際原子力機関（IAEA）の特別理事会がウィーンの本部で開かれ、イランが2003年末まで爆発核装置開発に関する組織的活動を行っていたが、現在はそのような情報はないとした事務局の報告書を踏まえ、過去の核疑惑の解明プロセスに終止符を打つ決議を全会一致で採択した。

\*12月15日、上海協力機構（SCO）の首相会議が中国河南省鄭州で開かれ、李克強首相がシルクロード経済圏（「一帯一路」）構想とメンバー国の発展戦略、ロシア主導のユーラシア経済同盟の連携を進めたいと発言。

\*12月16日、キューバ外務省のビダル米国局長がオバマ大統領のキューバ訪問を歓迎するが、内政干渉は認めないと発言、オバマ大統領は政治犯との面会が認められるなどの関係改善がみられることを条件にキューバ訪問を希望すると述べていた。

\* 12月16日、トルコ外務省が、イラク北部モスル近郊のバシカにトルコ軍が設置したクルド地域政府の治安部隊「ペシュメルガ」の訓練場が「イスラム国」に砲撃され、訓練を受けていたイラク人2人が死亡し、トルコ兵4人が負傷したと発表。

\* 12月17日、リビアの世俗派勢力とイスラム教系勢力がモロッコで統一政府樹立の合意書に署名した。合意は東の議会を立法院、西の議会を諮問議会とし、9人からなる大統領評議会が新政府を1ヶ月で発足させるとしている。

\* 12月17日、米国国務省が国交を回復したキューバとの直行航空定期便を半世紀ぶりに解説すると発表。1日最大110便で、2016年前半に就航の見通し。

\* 12月17日、国連安保理が理事国15ヶ国の財務相級の会合を開き、「イスラム国」に資金提供した個人や」団体に資産凍結や渡航禁止、武器禁輸などの制裁を科す決議案を全会一致で採択した。

\* 12月18日、コスタリカの国営電力会社が今年同国で発電された電力の99%が再生エネルギーだったと発表。目標を前倒しで達成したと強調した。

\* 12月18日、イギリスの国家統計局が同国の富裕層が貧困層に比べて3倍は早く資産を蓄積しているとの新しい統計を発表。2012~14年に所得上位10%の富裕世帯は年金を含む総資産を21%増加させたのに対して、所得下位の世帯では7%増にとどまった。

\* 12月18日、EUがブリュッセルで開催中の首脳会議の2日目の会合をひらき、犯罪データベースなどテロ関係情報の共有強化を確認した。

\* 12月18日、国連安保理がシリアの和平をめざす決議案を全会一致で採択した。これまで対シリア決議案で拒否権を行使してきたロシアが初めて賛成した。決議はアサド政権と反体制派が参加する「政権移行プロセス」について公式交渉を来年1月初旬から始めるよう事務総長に求めた。

\* 12月18日、アフリカ連合(AU)が政情不安が続くブルンジに対して最大で5000人の平和維持部隊を派遣する方向で調整していると公表。ブルンジ政府は、AU部隊の受け入れ拒否の立場を貫いており、受け入れを拒否している加盟国への派兵はAUとして初めてとなる。

\* 12月19日(日本)、安保関連法に反対するティーンズソウルが東京と大阪でダブルデモを実施。東京では表参道を各世代の1000人がデモ。

\* 12月19日、シリアの首都ダマスカス東部ジャラマナでイスラエル軍によるとみられる住宅地への空爆でレバノンのイスラム教シーア派武装組織「ヒズボラ」のサミル・クンタル幹部が死亡した。

\* 12月19日、国際人権団体ヒューマン・ライツ・ウォッチ(HRW)がエチオピアで複数の地域で11月に始まった学生らのデモに群や警察が発砲したため、これまでに少なくとも75人が死亡したと報じた。

\* 12月19日、トルコのエルドアン大統領がイスタンブールでパレスチナのイスラム武装組織「ハマス」の最高指導者メシャル氏と会談。

\* 12月19日、トルコ軍が同国南東部でのクルド労働者党（PKK）掃討作戦で、過去4日間で戦闘員110人を殺害。

\* 12月20日、安保関連法に反対する諸団体の市民有志が「安保法制廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」（略称＝市民連合）を結成。「戦争させない・9条壊すな！総がかり行SEALs」、「安保関連法に反対するママの会」、「立憲デモクラシーの会」の代表が参加。

\* 12月20日、スペインで総選挙（下院定数350）が実施され、開票率99.93%時点で、与党国民党（PP）は186議席から123議席に減少、社会労働者党（PSOE）

も110議席から90議席に減少、急進左派のPODEMOSが69議席に進出、CIUDADANOSは40議席にとどまり、IUは15議席を確保した。

\* 12月20日、スイスで行われていたイエメン和平会議が内戦終結に向けた合意のないままに終了した。

\* 12月21日、ハイチの選挙管理当局が大統領選挙の決選投票を延期することを決定。延期の理由は公表されず。

\* 12月21日、アフガニスタン東部パルワン州で同国駐留国際舞台に対して「タリバーン」によるとみられる自爆攻撃があり、米兵6人が死亡、3人が負傷した。

\* 12月21日、国際軍事情報大手IHSジェーンズが「イスラム国」の2015年内の不動向についてシリアとイラクの支配地域が14%縮小したとの見方を示した。支配地域の総面積は12月14日の時点で年初と比べて1万2800平方キロ減り、7万8000平方キロになった。アサド政権もシリア国内の支配地域を16%縮小した一方、クルド人勢力の支配地域が急速に拡大している。

\* 12月22日、イラク中西部アンバル州での州都ラマディ中心部から「イスラム国」を排除する作戦について、イラクの対テロ部隊報道官が「われわれは幾つかの戦線からラマディ中心部に新劇した」と述べた。

\* 12月22日、ギリシャ議会が政府に対してパレスチナ国家承認を求める決議を圧倒的多数で可決した。

\* 12月22日、アルゼンチンの首都ブエノス・アイレスで、10日に発足したマクリ政権の経済政策に抗議する大規模なデモが実施され、数千人の労働者や左派政党の支持者が参加した。

\* 12月23日、フランスのバルス首相が閣議後の記者会見でパリ同時多発テロを受け、テロ行為で有罪判決を受けた重国籍者の国籍剥奪や令状なしでの家宅捜査など市民権の一定の制限を可能にする国家非常事態を条文に盛り込んだ憲法改正案を明らかにした。改正案は国民議会で2016年2月3日から審議される。

\* 12月23日、スペインの最大野党社会労働者党（PSOE）のサンチェス書記長がラホイ首相と会談し、与党・国民党（PP）との大連立を改めて拒否した。

\* 12月23日、クロアチアのグラバルキタロビッチ大統領が国際的な製薬会社幹部のティホミル・オレシュコビッチ氏（49）を首相に指名した。保守・中道右派連合が経済改革を掲げる新党「モスト（橋）」と、オレシュコビッチ氏を首相とする連立政権を組むことで合意した。

\* 12月23日、エルサレム旧市街のジャファ門近くでパレスチナ人がイスラエル人を刃物で襲い、警察が発砲したため、イスラエル人2人を含む計4人が死亡した。

\* 12月25日、インドのもディ首相がロシアとアフガニスタンの訪問を終え、帰国途中でパキスタン東部ラホールを訪問し、シャリフ首相と会談した。インド手法によるパキスタン訪問は約12年ぶりである。

\* 12月25日、シリアで首都ダマスカス南部のヤルムーク難民キャンプやその周辺地区を占拠していた「イスラム国」と「ヌスラ戦線」などの武装勢力が、占拠地域から撤退することでアサド政権と合意した。ヤルムークには内戦前約18万人のパレスチナ難民が暮らしていたが、2012年頃から反体制組織が入り込み、2015年4月には「イスラム国」も侵攻した。PLOによると現在約7000人が残されている。

\* 12月25日、中国外務省の陸○報道局長が定例記者会見で、訪中していたシリアのムアテム外相が王毅外相との会談で、「国連安保理の決議を受け入れ、反体制派との対話に臨む用意があると表明した」と述べた

\* 12月25日夜、ナイジェリア北東部ボルノ州で「ボコ・ハラム」が村を襲い、少なくとも14人を殺害した。

\* 12月26日、「イスラム国」の最高指導者アブバクル・バグダディの声明とみられる音声がインターネットで公開され、イスラエルに対して「まもなくイスラム聖戦士の行進の音を聞かだろ」と攻撃を予告。

\* 12月27日、アフガニスタンの武装勢力「タリバン」と政府側の和平をめぐり、パキスタン軍とアフガン政府が交渉再開へ動き出すことで合意した。

\* 12月28日、シリアでダマスカス郊外ザバダニで負傷して孤立していた反体制派戦闘員130人と、北西部イドリブ県内の2地区で反体制派に包囲されたアサド政権支持の市民ら300人の交換が行われた。イドリブ2地区の住民はトルコを經由してレバノンに到着、今後ダマスカスに向かうとみられる。

\* 12月28日、イラクのアバディ首相が西部アンバル州の首都ラマディを「イスラム国」から解放したと宣言。5月にラマディから敗走した政府軍を立て直し、約7ヶ月ぶりに奪還した。

\* 12月28日、ケリー米国務長官が声明を発し、イランが2万5000ポンド（約1万1340キロ）の低濃縮ウランをロシアに向けて船で運びだしたと公表。7月のイラン核合意に基づいた措置で、欧米による対イラン制裁の解除に向けた「重要な一歩」となる。

\* 12月28日(日本)、日韓両国政府はソウルで外相会談を開き、慰安婦問題を決着させることで合意した。日本政府は軍の関与や政府の責任を認め、元慰安婦支援で韓国政府が新

たに設立する財団に日本から10億円を拠出すると表明。日韓双方が、この枠組みを「最終的かつ不可逆的解決」とすることを確認した。

\*12月29日、パキスタン北西部のマルダンでオートバイに乗った男が住民登録事務所の正門に突っ込み爆弾を爆発させ、22人が死亡、40人以上が負傷した。

\*12月29日、ベルギーの検察当局は大みそかから新年に催される伊イベントを狙ってテロ攻撃を計画したとして、イスラム過激派グループとみられる2人を拘束したと発表した。うち1人は「イスラム国」の戦闘員を勧誘するグループのリーダーである疑いが持たれている。

\*12月30日、朝鮮中央通信が、29日朝、北朝鮮の金養建朝鮮労働党統一戦線部長が同日朝交通事故のため死去したと報道。

\*12月31日、ロシアのプーチン大統領が新しい国家安全保障戦略を承認。ウクライナの「オレンジ革命」など旧ソ連諸国で続いた「色の革命」と呼ばれる政権交代がロシアでも繰り返される危険性を指摘、また中国との関係を重視する姿勢を強く打ち出した。新戦略の決定に伴い、2009年策定の「2020年までの国家安全保障戦略」は廃止される。

\*12月31日、中国主導で12月に設立されたアジアインフラ投資銀行(AIIB)がフィリピンが同日設立協定に署名したと発表した。これで創設メンバーとして参加申請していた57ヶ国が全て署名を終了した。

\*東南アジア諸国連合(ASEAN)共同体が発足。今後10年間の目標となる「ASEANk表動態2025」を採択した。